

# 枕崎市 地域学校協働活動だより

パソコンで検索 枕崎市地域学校だより

検索



発行  
枕崎市  
教育委員会  
生涯学習課

「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。スマホで読み取ったりパソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

## ～綱引きや相撲など～ 市内各地で十五夜行事

行われ、中でも南薩地域では綱を茅で練り、茅の束の帽子をかぶって綱引きをしたり、綱で土俵を作りて相撲を取ったりなど、特色のある行事が行われることから、枕崎市、南さつま市坊津町、南九州市知覧町の十五夜行事が「南薩摩の十五夜行事」として国指定重要無形民俗文化財に指定されています。

枕崎市内では今年は10月6日を中心に、22の公民館で十五夜行事が行われました。ほとんどの地域がロープで綱引きを行いましたが、西白沢公民館では大人と子供が一緒にワラとカズラで綱練りを行い、子供用の綱を作りました。

それぞれの地域では綱引きの前に「愛宕（あたご）参り」の十五夜唄を唄ったり、相撲や踊りなども行われたりしました。綱引きでは地域の人が総出で綱を引っ張って盛り上がり、楽しく伝統をつなぐ十五夜行事になりました。



金山地区の十五夜綱引きの様子(旧金山小学校)



## ～枕崎音頭の歴史と踊りを学習～ 枕崎小学校

枕崎小学校では毎年の運動会で「枕崎音頭」を全校生徒で踊るのが恒例で、8月の「きばらん海総踊り」にも枕崎小チームで参加しています。

枕崎小4年生の2クラス56名は、枕崎音頭の歴史や継承してきた人々の思いを学習するために、10月17日に枕崎音頭の踊り指導者の池上かずよさんを講師に迎え、歌の歴史や歌詞の内容、継承してきた思いなどを学びました。

池上さんからは、「枕崎音頭は昭和54年(1979年)に枕崎を盛り上げようと作られた。5番までの歌詞に市内全校区の名物などが織り込まれている。昭和55年(1980年)に枕崎音頭の踊りの振り付けが完成し、みなと祭り前夜祭での総踊りが始まった。」との話がありました。最後は池上さんの指導で枕崎音頭をみんなで踊り、大事に受け継いでいくことを誓いました。



枕崎音頭の歴史を語る池上さん

池上さんの指導で全員で枕崎音頭を踊る

## ～読書活動で郷土の民話を伝承～ 立神小学校

に4～6年生、29日に1～3年生に郷土の民話を読み聞かせを行いました。

「郷土の民話を伝承」は、立神地区公民館の青少年講座も兼ねていて、地域の子供たちに枕崎の民話を語り継いでほしいということで、毎年行われています。

今年読み聞かせをしたのは「夢宅と鹿籠金山」という民話で、江戸時代に有川夢宅（ありかわむたく）が鹿籠の金山を発見した経緯がもとになっているお話です。絵を下にロールさせると画面が展開していく大型の絵巻に、子供たちは興味津々に聞き入っていました。

市立図書館が製作した絵巻による郷土の民話は他にも3話あり、いずれも市立図書館の職員が文と絵を描いた労作です。絵巻による民話に興味のある方は、市立図書館にお問い合わせください。

立神小学校では読書活動の一環として郷土の民話の伝承を行っており、枕崎市立図書館の職員の方々に来ていただき、10月24日



大型絵巻の物語に聞き入る立神小の子供たち

## ～家庭科でミシンの使い方を指導～ 枕崎小学校

枕崎小学校では9月30日に5年1組、10月3日に5年2組の家庭科のミシンの授業があり、「たけのこ」と「家庭倫理の会」のボランティア延べ9名の方々に来ていただき指導をしてもらいました。

5年生は初めてのミシンの授業でしたが、2時間でタオルからぞうきんを作ることをめあてに取り組みました。タオルをハサミで切ってぞうきん

の形にして、「まち針」で止めて「しつけ」をしてからミシンで縫うという工程での製作でした。ミシン操作が初めてという児童も多いでしたが、慎重にミシンに糸をセットして、そろりそろりとミシンで縫って、ぞうきんを上手に仕上げていました。



5年1組の授業の様子

5年2組の授業の様子



完成した ぞうきん

## ～家庭科で手縫いとミシンの指導～ 立神中学校



「からくるこりりん」が完成

会」のボランティアの方々に指導をしてもらいました。2年生は2時間が3回、3年生は2時間が2回で、5回の授業で延べ25人に来ていただきました。

2年生は「リバーシブルトートバッグ」など1枚の布からミシンで縫い合わせる作品を、3年生はハサミでフェルトを切り抜いて「からくるこりりん」や「サッカーボール」など、幼児のおもちゃの製作に取り組みました。



2年生の授業の様子



3年生の授業の様子